

第17回情報知識学フォーラム 「震災の記憶・記録とアーカイブズ」

- 日時:2012年11月4日(日) 10:00-17:00
- 会場:東京大学本郷キャンパス 工学部2号館 1階
213号大講義室(12C室)
- 主催:情報知識学会
- 後援:情報科学技術協会, saveMLAKプロジェクトほか

【プログラム(予定)】

詳細URL: <http://www.jsik.jp/?forum2012>

10:00	開会挨拶:石塚英弘(情報知識学会会長)	
第I部:震災の記憶・記録とアーカイブズ		
10:10	国立国会図書館における東日本大震災アーカイブの取組み	国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課次世代システム開発研究室・室長 河合美穂
10:40	震災をメディアはどう伝えてきたか —NHK東日本大震災アーカイブズの試み—	NHK 知財展開センター アーカイブス部・副部長 宮本聖二
11:10	震災アーカイブズの現状と課題	アカデミック・リソース・ガイド株式会社・代表取締役 saveMLAK・プロジェクトリーダー 岡本 真
第II部:震災の語りと共有		
13:00	震災で変わるもの、変わらないもの —日本災害史とアーカイブズの役割—	立命館大学・教授 北原糸子
13:40	記憶・記録とオーラルヒストリー	東京理科大・教授 松島 茂
第III部:アーカイブズとアーカイブズ以降		
15:00	神戸の記憶・記録とアーカイブズ	神戸大学・教授 奥村 弘
15:30	原子炉事故情報アーカイブの構築に向けて	日本原子力研究開発機構 中嶋英充、池田貴儀、米澤稔、板橋慶造 東京大学・特任研究員 桐山恵理子 事業創造大学院大学・教授 岩田修一
16:00	記憶と解放、記憶と伝承 —インドネシア・アチェの津波の経験を踏まえて—	国土交通省土木研究所・研究員 杉本めぐみ
16:50	閉会挨拶:梶川裕矢(情報知識学フォーラム実行委員長)	

参加費:無料

資料代: 学会会員・後援団体会員:無料、一般非会員:3000円、学生非会員:1500円

参加申込:

参加申込は次のページからお願いします:<http://bit.ly/jsikforum2012>

※定員は340名です。当日参加も可能ですが、できるだけ事前の参加申込をお願いします。

お問い合わせ先:

情報知識学会事務局 〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1(凸版印刷(株)内)

E-mail: jsik@nifty.com <http://www.jsik.jp/>

情報知識学会ではこの度、「震災の記憶・記録とアーカイブズ」をテーマとするフォーラムを開催する運びとなりました。震災の記憶をいかに記録し、アーカイブズとして後世へと残していくべきか、参加者の皆さまとともに考えていければと思います。